

全国分布の最西端に群生する

大白川ドロノキ希少個体群保護林

設定目的

大白川国有林の一部に群生しているドロノキは、全国分布の最西端にあたるとされ、かつ、高木となっていることから、主要林業樹種として保護することを目的としています。

地況・林況

大白川の川沿いに成立する林齢約二百年のドロノキ大径木林であり、白山のドロノキ林は国内のドロノキ分布の西限近くに位置しています。

シリーズ

中部の保護林(第53回)

所在地
岐阜県大野郡白川村



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。



お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。